

第14回おの100挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
何度も同じことを言わず、本人が動くことを待てる様に気を付ける様になりました。
完歩、やりとげた事、3回もという事で、よく頑張ったねとたくさんほめるようになりました。やればできるという事を。
なるべく自分で考えて行動させるようにしています。
設問9の様に、努力する様になったので、しかる事が少し減ったと思います。
自分で行動する事が少し増えた様な感じがするので、私がすぐに手助けせず、見守る時間を長くしました。
なるべく過干渉をしない様に努力しています。でも、つい口を出してしまうので反省です。
声かけが少し変わった。
本人にまかせられる範囲で、本人が「大丈夫」と言った事は、大分まかせられるようになってきました。
少し待つようになりました。
この子はがんばれる子だな、という信頼感ができたと思います。「とても楽しくて、帰りたくなかった」と言っていたので、親離れの邪魔をしないよう、子離れが課題だと思いました。
自分の事は自分でさせる様にした。今までは親がしていた事、例えば、食べた後食器を下げる、洗濯物を持って行く等。
口をすぐに出さず、自分でさせる様に心がけています。子どもがきいてきたらすぐ意見せず、「自分はどうしたい？」ときく様にしています。
良い意味で、ほどよい距離感を感じる。
自立に向けて、本人の意思を尊重するよう努めている。
子ども達がやりきったことが、親にとっても自信につながり、子どもの行動を安心してみられることが増えて、口出しが減った気がします。この暑い中、やりきったわが子をほこりに思うし、これから先、大変なことがいろいろあると思いますが、大ていのことは乗りきれな、と感ずることができました。
今までは1～10までガミガミ言っていたのを見守れる様になって、任せられるようになりました。

第14回おの100挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
少しキョリを持って見る事ができる様になった。
特にない。
子どもの自主性をもっと見守ってやらなければならないなと思いました。
子どもが選択し、実行するような声掛けや子どもを信頼し、待つという時間が増えました。
特に変わっていません。
色々な経験をさせないといけないと思うので、家事、清掃、自分の身の回りのことなど、少しずつさせていきたい。
信じてことができるようになりました。これだけしんどいことをのりこえたのだから大丈夫！と思えるようになりました。
子ども自身が気付いて行動したときは、なるべくのがさず声をかけるようにしています。
あまり口出しせず、自分で考えさせるようにしている。
特になし。
子どもの意見・考えを尊重して、本人を今まで以上に信じる様になれました。
いつまでも子ども、赤ちゃんのように接するのではなく、息子を信じて、もう少し温かく大きく見守ってみようと思います。
がんばっている子どもにちゃんと「がんばってるね。」と言うように心がけています。子どもを信じていることを心がけて、いちいち指示したりしないようがんばっています。
自分で考えて行動させるようにしている。今までは親が先に口や手を出しているところを反省・・・。
自立をじゃましないように見守るようにしている。
親離れした五日間があったからこそ、子ども自身やりぬく力があるんだと思って接するようになった。細かいことまで言わないように、相手を信じているという姿をみせるようになったのが変わったと思う。
子どもの意思を尊重するよう心がけています。

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

ちょっと躊躇するような事があっても、100km歩けたんだからと言うと、頑張ってみようとするようになった。

内側から出てくる考え、意見を尊重し、信じて待つことを心がけています。

口うるさく言わない様、がまんしています。本人が失敗しても、おこらず、笑って声かけする様、心がけています。

少し責任のあることでも、今までよりは安心してまかせられるようになりました。

今までは子どもが失敗してしまわないよう、痛い思いをしない様、先々「～しなさい」と言うことが多かったが、自分でやらしてみようと一歩ひいて子どもの様子を見れる様になった。「この子ならできる!!」と信じてやろうと思うように。

夏休み中は、一日に何度も宿題終わった?と聞いてもすませていませんでした。これからは、見守り、一回声をかける程度にしようと思っています。

息子の意志や考えで行動する事に、多少「?」があっても、様子を見て、見守れるようになった気がします。

特にありません。

特にありません。

ひと呼吸おいて、声をかけるよう心がけるように努力しています。自分でがんばろうとする芽をつまないように気をつけているつもりです。

感謝の気持ちを持つ、という話をする事ができるようになりました。「100km歩けたのは、自分だけの力でなくて、色んな人たちの支えがあったから、できたことだよ。ありがとうとおうね。」と私が言うのを、実感してくれるようです。

やればできるという自信を持っているようなので、親としても根気強くつき合うことが増えたように思います。

とくにありませんが、子どもの意見も尊重してあげないと、と思います。子離れの第一歩になりました。

子どもの気持ち、考え方を尊重するようになった。過干渉が減った。

自主性にまかせようと。

第14回おの100挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
特にはない。
何かしんどいことがあると、「おの100がんばれたんじゃけえ」と励ましている。
「100km歩いたんだよ」と、「自信を持って」と声をかける事が増えました。
2年連続完歩できたので、私が、子どもを見直した感じです。うわべだけでなく、本当に心から、やればできる子!と思えるようになったし、接し方も(具体的にどう・・・というのは思いつかないけれど)変わったと思います。
おの100でがんばったのだから、もっとほめて欲しい、もっとやさしくして欲しい。もっと評価して欲しい、と1カ月くらい言われました。
子どもあつかいばかりでしたが、お姉さんらしくなったような気がしています。
2回、3回同じ事を言わなくなった。子どもがやるようになったのと、やるだろうと思えるようになった。
自主的にやるようになったので、あまりおこらなくなりました。
特になし。